

NPO 自立支援センター ふるさとの会

2006.11.24
【第11号】



これはHTML形式のMAILです。オンラインで無い場合は画像が表示されない可能性があります。

[HOMEPAGE](#)

[SCHEDULE](#)

[EVENTetc](#)

※ふるさとの会のメールマガジンをご愛読いただき、誠にありがとうございます。今後もふるさとの会の活動内容を定期的に情報発信させていただきたいと存じます。ご不要の場合はお手数ですがご返信くださいますようお願いいたします。

INDEX

- ① 第12回ふるさとの会シンポジウム開催報告
- ② 日の出館カラオケ大会催しました！
- ③ ひろば祭り参加報告
- ④ 東災ボ主催「徒歩帰宅訓練」参加報告
- ⑤ 山谷塾をふりかえって
- ⑥ 今年もやります！『ふるさと越年祭り』
- ⑦ 今月のボランティア募集

1.第12回ふるさとの会シンポジウム開催報告

「働きたいけど働けない人」、「失業者」にカウントされない人、ニート、引きこもり、パート労働者、母子父子家庭、「ワーキングプア」……。

複雑化する就労困難問題に対応するため、ふるさとの会では例年のシンポジウムのテーマを、『包括的地域生活支援を考えるためのシンポジウム—ホームレスの自立支援・就労支援とは—』として、10月29日(日)13:30～16:30、財団法人東京しごとセンター講堂にて開催しました。

基調講演では、大阪市立大学大学院経済学研究科 福原宏幸教授にお話いただき、後半のパネルディスカッションでは各パネリストからの報告を元に、会場の参加者との間で熱い議論が交わされました。行政関係、企業、支援団体、学者・研究者、学生など様々な分野から206名の方々に参加いただき、関心の高さをうかがうことが出来ました。



立ち見が出るほど盛況だった会場



コーディネーターの山岡さんはじめ、そうそうたるメンバー

パネリスト

池田 幹雄 氏(東京都福祉保健局生活福祉部計画課自立支援課係長)
 富田 一幸 氏(株式会社ナイス 代表取締役)
 布川 日佐史 氏(静岡大学人文学部 教授)
 福原 宏幸 氏(大阪市立大学大学院経済学研究科 教授)
 水田 恵(特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会 代表)

コーディネーター

山岡 義典 氏(法政大学現代福祉学部教授、日本NPOセンター副代表理事)

(大塚 直史)

2.日の出館カラオケ大会催しました！

先月10月24日(日)、日の出館にて宿泊所の利用者さんたちのカラオケ大会が行なわれました。参加者は利用者さん25名職員8名の総勢33名。皆さん、自慢の喉を大いに披露されていました。日の出館の館長 成清礼子さんにインタビュー！

(カラオケ大会をすることによって、どんな効果が生まれましたか?)

『普段発音ができない方が、歌うことによって言葉が出るようになりました。これはすごいことです。また、腹式呼吸をするので健康にもいいし、閉じこもりがちな利用者さんにとっていい気分転換になっているようです』

(他の宿泊所の方と交流する機会にもなっているようですね)

『その後デイサービス等で会ったときにも親しく話をしているようです。またカラオケの日は皆さんお化粧したりして華やいだ雰囲気ですね。同性だけの宿泊所なので、異性との交流をするとてもいい機会だと思います』

(ありがとうございました)



(金井 麻衣子)

3.『みんなのひろば祭』に参加しました！

前日は小雨が降っていましたが、幸運にも当日は晴天に恵まれました。『みんなのひろば祭』は、台東区の80以上の団体が参加するイベントで、さまざまな年代の方が手を取り合って育んできたお祭です。大人も、子どもも、お年よりも、障害のある方々も、ご近所の方も、皆さんが渾然一体となつてとても和やかなイベントとなりました。

ふるさとの会では、模擬店にて特製モツ煮込みと飲み物を販売しました。お客さんの中には、ふるさとの会の各施設利用者さんも見られました。1日で200食ほどを予定していましたが、お昼過ぎには完売！模擬店の中でも、早いペースで、売り切れたのではないかと思います。来年も地域の一員として、ぜひ参加していきたいと思ひます。



実行委員会の一員として壇上で挨拶



自慢のモツ煮込み。開店前から待つ方も

(尾竹 唱木)

4.東災ボ主催2006市民による防災訓練—帰宅困難者対応訓練—に参加して

11月4日(日)に行われた、東京災害ボランティアネットワーク主催の『徒歩帰宅訓練』のエイドステーション設置訓練に、ふるさとの会では4名の職員を派遣。テント設営、炊き出し、食料配布を担当しました。

この『徒歩帰宅訓練』は、大災害によって鉄道・車での移動が困難になり、徒歩での帰宅を余儀なくされたと想定し、

都心から郊外までを徒歩で類似体験するというもの。また、エイドステーションでは休憩、配食、情報提供等の機能を備え、参加者を支援しました。

今回の経路は日比谷公園を出発しゴールを川崎市中原区と設定し、大きなエイドステーションとしては、私たちが参加した高野山東京別院(白金台)他8ヶ所を設置し、沿道のガソリンスタンドもASとして協力しました。徒歩訓練に500名、AS設置訓練に300名の方が参加されました。

今回ボランティアとして参加した、ふるさと会の職員の岡田さんに今回の感想を聞かせてもらいました。岡田さんの出身は兵庫県で、阪神・淡路大震災のこともあり、人ごとではないと思ったことや、ベビーカーを押しながら参加した家族を見た時、自分自身も妻子を持っていたので、考えさせられたと言っていました。また、機会があれば、支援する側としてではなく、帰宅訓練に参加してみたいと言っていました。

いつ大規模な地震が発生するかもわからない日本に住む私たちにとって、このような訓練に一度は参加して、心構えをしておくことが大切だと感じました。



夏祭りでもお世話になっている高野山別院でのAS*



東災ボ本部での情報伝達訓練の経路地図

*高野山別院の皆さまには、例年ふるさと会が玉姫公園で行っている「夏祭り」で、山谷地区で亡くなっていかれた方々の無縁供養に毎年ご協力いただいております。

(西川 雄啓)

5.山谷塾を振り返って

好評を博した、山谷塾も10月28日で終了しました。多くのボランティアさんが参加して下さった山谷塾を振り返ってみようと思います。

第一回9月9日(講師 水田恵塾長)『「山谷」とは何か。その歴史について』。ふるさと会の支援の舞台である「山谷」の過去(寄場)と現在(ホームレス)についての講義。山谷を知らない方も、知っている方にも、解り易い内容で山谷に対する興味も深まった事と思います。

第二回9月16日(ふるさと「匠」チーム)『自転車修理講習』。自転車の修理の基礎(パンク修理)を習得しようと、ご近所の方や、学生さんもいらっやいました。

第三回9月30日(講師 東京学芸大学 鈴木 亘助教授)隅田川に暮らすホームレス。墨田区ホームレス実態調査に携わった講師より、ホームレス支援に必要なとされる施策を学びました。

第四回10月7日(ふるさと「匠」チーム)『大工修理講習』。参加者の皆さんで、看板を製作しました。看板はふるさと会で使います。

第五回10月14日(講師 東京女学館大学 麦倉哲助教授)『「山谷」でのケースワーク』。

ボランティアでもお馴染みの、麦倉先生の講義でした。「山谷」で支援の現場を見つめ、自ら支援を担ってきた講師より、ケースワークを学ぶという内容でした。

第六回10月21日(講師 山谷マック)『「山谷」とアルコールの切っても切れない関係』。山谷とアルコールの深い結びつき。アルコール依存者に対する支援を、元・当事者さんのお話を交え講義いただきました。

第七回10月28日最終回『アウトリーチ実践』。これまで学んだことを踏まえ、実際に墨田川沿いへ。ホームレスの住まうテントに出向き、路上から脱却するための支援を考えるとという内容でした。



第1回水田塾長のお話。皆さん熱心に聞き入っていました

(尾竹 唱木)

6.『越年祭り』、今年もやります！

毎年恒例の『ふるさと越年祭り』の時期が近づいてまいりました。ボランティアの皆さま、物資提供を下される企業の皆さま、財政支援をくださる多くの皆さま、いつもありがとうございます。

さて、今年も12月29日から来年1月3日まで、『越年祭り』を行います！炊き出し、浅草七福神めぐり、ステージイベント、アウトリーチなど、たくさんの方のお力が必要です。また、炊き出し用の米、味噌、しょうゆなど、カンパも大募集いたします。物資に関しましては、下着、髭剃り、せっけん、タオル(全て新品に限ります)など、新しい年を気持ちよく迎えるためにも、ご寄付いただければ幸いです。

越年祭りボランティアに関しましては、次号で詳しくお知らせします。お問い合わせお待ちしております。

ボランティアサークルふるさとの会担当：古木 TEL:03-5819-3254 E-Mail:volunteer-circle@lime.ocn.ne.jp



昨年の隅田川岸での炊き出しの様子



毎年恒例の七福神めぐり。江戸の歴史に触れる一日

7.今月のボランティア募集

ふるさとの会で受託、運営している『財団法人城北労働・福祉センター別館敬老室』(以下、敬老室)では、ボランティアサークルふるさとの会を中心に、毎月第3日曜日、利用者の方たちとの食事会を開催しています。来月は特別行事として、クリスマス会を予定しております。活動時間は10:00～15:00を予定しています。料理自慢の方、楽しい仲間がお待ちしております！

興味がある、月一回くらいなら時間を作れるという方は、毎週日曜の敬老室日曜開放のボランティアは常時募集していますので、どうぞお気軽に下記までお問い合わせ下さい。

敬老室 03-3801-0377 担当:秋山



3月に行った特別行事



ひな祭りの様子



昼食の準備

発行元：特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会
〒111-0031東京都台東区千束4-39-6
TEL:03-3876-8150 FAX:03-3876-7950